

広報委員会

委員長 吉田 輝 副委員長 高橋 宗尊 副委員長 土居 篤博

1. 役割と基本方針

JIRA活動を広く外部へPRするにあたり、一元化された情報により効果的な広報活動が出来るよう計画・実行してJIRAのイメージアップを図る。また、JIRA会員に対する情報伝達についても、タイムリーで分かりやすい内容となるように心掛け、会員企業における情報共有を進めてJIRA活動の活性化を図る。

2. 2021年度の主な活動項目とその成果

(1) 「Data Book 図表で見る画像医療システム産業」の編集、発行

- ・「DATA BOOK 2021 図表で見る画像医療システム産業」の発行

2021年4月16日に発行し、ITEM2021（パシフィコ横浜）の会長記者会見でマスコミへ公表した。

このData Bookは、画像医療システム産業を取り巻く環境や産業の現況が、わかりやすく、明確に読み取れることを目指して、基本となるデータや資料に数行の解説を加えた形として2012年から毎年発刊している。

DATA BOOK 2021では、最新のデータおよび情報に基づく改訂を実施する中で、更なる内容の充実を図りより使いやすく刷新した。

全体構成を各項目の繋がり観点で整理し、新たに中分類を導入する等により、より理解しやすくなるような工夫を加えた。また、「3章 医療機器産業の将来展望」を充実させることをめざし、2020年度の成長戦略実行計画など最新の国家戦略の中から医療機器産業に関係するものや、医療機器のサイバーセキュリティ対応、2019年12月に公布された薬機法の改正概要さらに医療機器産業の国際展開等多くの内容を更新した。

「1章 医療機器産業の現状、2章 画像医療システム産業の現状、3章 医療機器産業の将来展望、4章 経済・医療環境の関連統計」の全4章の構成とした。

- ・「DATA BOOK 2022 図表で見る画像医療システム産業」の編集

「DataBook」発刊の趣旨を踏まえ、2022年版として、最新のデータおよび情報に基づく改訂を実施することはもちろん、医療機器産業の成長に関連する国家戦略・政策が数多く打ち出されている中、これらについて画像医療システム産業を中心に整理して提供することが特に重要であると考え最新状況を反映し全体的な見直しを行った。

但し、2019年より厚労省薬事工業生産動態統計の集計方法が変更になったため、前年度までのデータとの連続性がなくなる部分があるがご理解いただきたい。

(2) JIRA会報の発行

- ・JIRA会報No.212（前年度活動報告特集号） …2021年6月発行（冊子およびWeb）
例年通り、各部会・委員会の「2020年度活動報告特集」として、JIRA総会時の活動報告会資料として配布した。

- ・JIRA会報No.213 …2022年1月発行（冊子およびWeb）
[会報（1月発行分）編集方針]

「各部会・委員会からのトピックス」については、単なる部会・委員会の活動報告では

なく、会員企業に周知すべき国内外の法規制や国家戦略・施策、医療行政の動き、診療報酬改訂動向、市場情報などのトピックスの解説、またJIRA会報発行時点で内容を整理しておくべきJIRAの対外活動の経過や成果紹介などに特化した。

(3) JIRAテクニカルレポートの発行（技術広報専門委員会）

- ・ No.59（新製品・新技術紹介） …2021年4月発行（冊子およびWeb）
- ・ No.60（日本放射線技術学会秋季学術大会 JIRA 発表会抄録集）
…2021年10月発行（冊子およびWeb）
- ・ No.61（新製品・新技術紹介） …2022年4月発行（冊子およびWeb）

JIRAテクニカルレポートの発行目的は、「会員企業の新製品・新技術を技術的な側面から紹介する場を提供し、特に発表の機会が少ない中小企業・IT企業にも発表の場を提供することにより、JIRAとして企業振興へ寄与すること」である。さらに、「春季、秋季の2回/年、印刷物による発行を基本とし、HP（一般向け）にも掲載する」「非会員であってもITEM展示への参加企業（非会員参加費負担）に対しては同様の趣旨で募集し、JIRA活動への理解とJIRA入会への動機付けとする」との運用方針としている。

(4) 「JIRA概要（8ページ冊子、日本語版）」の見直し

- ・ 社員総会終了を受けて、2021年度版として見直しを実施し、会長挨拶、JIRA組織図、市場統計データなどを更新した。

(5) 会長記者会見等、報道機関への配信

報道機関向けにJIRAの事業、工業会活動などを発表する会長記者会見を次の通り開催した。

- ・ 2021年4月16日に2021国際医用画像総合展（ITEM in JRC2021）会場にて会長記者会見を開催し、「2021年度JIRA活動基本方針」および「ITEM2021概要」「第18回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査報告書（概要版）」「DATA BOOK 2021図表で見る画像医療システム産業」について発表した。（出席：10社10名（感染防止対策として1社/1名事前登録制、マスク、検温、手指消毒を実施）、当日配布したPRESS RELEASE/PRESS INFORMATIONをJIRAホームページで公開）
- ・ 2022年1月6日に「会長年頭所感発表会」を開催した。（出席：7社9名）
- ・ 報道機関への取材案内配信
2021年6月3日「JIRA 2021年度定時社員総会および活動報告会開催のご案内」として報道関係者に配信した。（会員向けの総会・活動報告会のため、質問は不可、写真撮影は制限有り。出席：8社9名）
- ・ 報道機関向け「PRESS RELEASE」「PRESS INFORMATION」配信（産業戦略室と連携）

2021年4月16日「2021年度 JIRA 活動基本方針のご報告」

「DATA BOOK 2021 図表で見る画像医療システム産業」発刊の件

「第18回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査報告書」結果概要公開の件

2022年1月6日「2022年 JIRA 会長 年頭所感」

(6) 医用画像電子博物館（EMMI）の保守（EMMI合同専門委員会）

- ・ 更新項目等メンテナンスを実施した。

(7) その他の活動

- ・ 「JIRA NEWS」の配信
「JIRA NEWS」を月1回「会員会社」へ電子配信した。（事務局）

- ・ 広報委員会開催実績
 広報委員会の開催：15回/2021年度

3. 2022年度の活動計画概要

「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2025」を踏まえた「2022年度JIRA活動基本方針」に沿って広報活動を展開する。

産業戦略室と協力して、グローバルな視点で戦略的広報を推進する。

(1) 「DATA BOOK 2022 図表で見る画像医療システム産業」の編集、発行

画像医療システム産業の現状・将来をJIRAステークホルダー（行政・マスコミ・研究機関・会員企業など）に理解していただく目的で資料集の体裁として2012年に創刊した「Data Book 図表で見る画像医療システム産業」を、2021年度内に掲載内容の更新・見直しを行い、2022年4月に発刊した。

また、2022年版も昨年度と同様に会員にはメール等で発刊案内し、Web（会員用HP）からPDFデータが無償でダウンロード可とした。

発刊後は、資料をさらに充実させていくために次号の企画も行う。

(2) 刊行物の発行

下記の出版をJIRAホームページに掲載する形で行う。

さらに、JIRA概要、JIRA会報、JIRAテクニカルレポートについては紙媒体でも発行する。

- ・ JIRA ニュース（担当：事務局） （発行予定：1回/月）
- ・ JIRA 会報 [トピックス編] （発行予定：2023/1）
- ・ JIRA 会報 [活動報告編：総会用] （発行予定：2022/6）
- ・ JIRA テクニカルレポート （発行済み：2022/4、発行予定：2022/10）
- ・ JIRA 概要（日・英） （発行予定：2022/7）

(3) JIRA ホームページの品質維持、向上

技術広報専門委員会、EMMI（医用画像電子博物館）合同専門委員会等の広報委員会関連組織との連携を強化し、JIRAホームページを活用したタイムリーな情報発信に努める。また、JIRAホームページの運用状況を注視し、発信する情報の品質の維持向上に努める。

(4) 会長記者会見等、報道機関への配信

会長記者発表会の準備・運営を行う。プレゼンテーションデータの準備にあたってはビジュアル化に努め、デザイン性を向上させてプレス関係者への十分なアピールをめざす。

- ・ [ITEM時] JIRA 会長記者会見 : 2022/4
- ・ JIRA 会長年頭記者会見 : 2023/1

その他のJIRA定例行事に合わせてプレス関係者を招聘し、広報活動としての情報発信に努める。

- ・ JIRA 社員総会/活動報告会 : 2022/6
- ・ JIRA 画像医療システム産業研究会 : 4回/年 Webinar

(5) 厚労省／医機連イベントへの協力

- ・ こども霞が関見学デー厚労省医政局経済課展示エリアに出展 : 2022/8